

科名                      消化器科                      消化-27a

対象疾患名                      膵癌

プロトコール名              ゲムシタビン(d1、8、15)

Rp	形態	ルート	薬剤名	投与量	コメント	1	...	8	...	15	...	22
1	点滴注	メイン	生理食塩液	250mL	ルートキープ	↓		↓		↓		
2	点滴注	側管	グラニセトロン デキサート	3mg 6.6mg	30分かけて	↓		↓		↓		
3	点滴注	側管	ゲムシタビン 5%ブドウ糖	1000mg/m <sup>2</sup> 100mL	必ず30分で 点滴	↓		↓		↓		

～MEMO～

3投1休／1コース(=4週)

<ゲムシタビン>

ゲムシタビンは必ず30分で投与(副作用増強防止のため)

禁忌:間質性肺炎、肺線維症のある患者、胸部への放射線療法との併用

血管痛の対処方法:

- ①静脈炎・血管痛を予防するために以下のことを考慮し、点滴の針を刺す。
  - ・血流の良い太い血管をできるだけ使用する。
  - ・毎回、できるだけ穿刺部位を変える。
  - ・長く留置していた静脈、過去に静脈炎を起こした血管は避ける。
- ②点滴中は、以下のことを考慮し、投与する。
  - ・点滴の入っている腕を予め加温し、血管を温めて広げ、血流を良くする。
  - ・メインの生理食塩水の投与量を増やし、より希釈しながら投与する。